

血液1：白血球系疾患(1) 白血球増加症、白血球減少症、伝染性単核球症、急性白血病

日時：7月21日(火) 2時限

担当者：高橋 直樹(国七 造血器腫瘍科)

内容：

1. 白血球増加症
 - 1) 好中球増加症
 - 2) 好酸球増加症
 - 3) 好塩基球増加症
 - 4) リンパ球増加症
 - 5) 単球増加症
2. 白血球減少症
 - 1) 好中球減少症
 - 2) リンパ球減少症
3. 白血球機能異常症
4. 伝染性単核球症
5. 急性白血病(急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病)
 - 1) 分類
 - 2) 病態
 - 3) 臨床症状
 - 4) 検査所見
 - 5) 治療/予後

キーワード：

核左方移動、異型リンパ球、EBウイルス、血球貪食症候群、ミエロペロキシダーゼ反応、アウエル小体、染色体異常、細胞表面マーカー、遺伝子異常、オールトランス型レチノイン酸(ATRA)、化学療法、造血幹細胞移植、分子標的療法

教科書：

- ◆ 内科学第9版 朝倉書店 p1871-p1875, p1881-p1894, p1896-p1904, p1967-p2017

参考書：

- ◆ カラーテキスト血液病学 中外医学社
- ◆ WHO分類第4版による白血病・リンパ腫の病態学 中外医学社

備考：

症例検討、医師国家試験問題による演習

準備：

内科学第9版 朝倉書店 p1871-p1875, p1881-p1894, p1896-p1904, p1967-p2017 を読んでくる(30分間)。

血液2：白血球系疾患(2) 慢性骨髄性白血病、骨髄増殖性腫瘍

日時：7月22日(水) 4時限

担当者：高久 智生(血液内科)

内容：

1. D-1-4)-(4) ③ 慢性骨髄性白血病
 - 1) 病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 検査所見
 - 4) 診断
 - 5) 治療/予後
2. D-1-4)-(4) ⑦ 真性多血症

- 1) 病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 検査所見
 - 4) 診断
 - 5) 治療/合併症/予後
3. D-1-4)-(4) ⑦ 本態性血小板血症
 - 1) 病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 検査所見
 - 4) 診断
 - 5) 治療/予後
 4. D-1-4)-(4) ⑦ 二次性血小板増加症
 5. D-1-4)-(4) ⑦ 原発性骨髄線維症
 - 1) 病態
 - 2) 臨床症状
 - 3) 検査所見
 - 4) 診断
 - 5) 治療/予後
 6. D-1-4)-(4) ③ 慢性好酸球性白血病/好酸球増加症候群(HES)

検査所見

国試に出る骨髄および末梢血塗抹標本の解説と形態学の読み解き方

キーワード：

フィラデルフィア染色体、BCR-ABL 融合遺伝子、チロシンキナーゼ活性、JAK2 遺伝子変異、骨髄巨核球、血栓症、白赤芽球症、同種造血幹細胞移植、JAK 阻害薬、アナグレリド

教科書：

- ◆ 内科学第 11 版 朝倉書店

参考書：

- ◆ カラーテキスト血液病学 中外医学社
- ◆ WHO 分類第 4 版による白血病・リンパ腫の病態学 中外医学社

備考：

症例検討、医師国家試験問題による演習。本講義では、国家試験を念頭に急性白血病も含めた白血病全体の診断、特に骨髄塗抹標本の読み方を分かりやすく解説する。

準備：

予習として内科学第 11 版 朝倉書店における該当項目を読んで理解する (30 分)。これまでに国家試験で出題された慢性骨髄性白血病および骨髄増殖性腫瘍に関連する既出問題を復習する (30 分)。

血液 3：リンパ系疾患 悪性リンパ腫、血漿蛋白異常、血球貪食症候群

日時：7月24日(金) 1時限

担当者：照井 康仁(血液内科)

内容：

1. 多発性骨髄腫
2. 原発性マクログロブリン血症
3. その他の血漿蛋白異常症
4. 血球貪食症候群

キーワード：

免疫グロブリン、単クローン性免疫グロブリン血症 (M 蛋白血症)、Bence Jones 蛋白、多発性骨髄腫の病態・合併症・治療、原発性マクログロブリン血症、MGUS、H 鎖病、POEMS 症候群、アミロイドーシス、血球貪食症候群、VAHS、LAHS

教科書：

◆ 新臨床内科学、エッセンシャル血液病学第 5 版、内科学第 9 版 (朝倉書店)、標準血液病学 (医学書院)

参考書：

◆ 新臨床内科学、エッセンシャル血液病学第 5 版、内科学第 9 版 (朝倉書店)、標準血液病学 (医学書院)

備考：

発展課題：多発性骨髄腫に伴う合併症 (骨病変、感染症、腎病変、過粘稠度症候群、高カルシウム血症、アミロイドーシス) の治療

準備：

予習：キーワードについて調べる。(30 分)

血液 4：赤血球系疾患(1)

日時：7 月 24 日 (金) 2 時限

担当者：脇本 直樹(国七 造血器腫瘍科)

内容：

貧血

1. 貧血の症候を説明できる。D-1-3)
2. 平均赤血球容積 < MCV > を用いた貧血の分類
 - 1) 小球性貧血 D-1-4)-(1)-①
 - (1) 鉄欠乏性貧血の原因、診断、治療を説明できる。D-1-4)-(1)-②
 - (2) anemia of chronic disorders (ACD)の原因、診断、治療を説明できる。D-1-4)-(1)-②
 - 2) 大球性貧血 D-1-4)-(1)-⑤
 - (1) ビタミン B₁₂ 欠乏性巨赤芽球性貧血 (悪性貧血など) の原因、診断、治療を説明できる。
 - (2) 葉酸欠乏性巨赤芽球性貧血の原因、診断、治療を説明できる。
3. 骨髄不全症
 - 1) 再生不良性貧(AA)の病態・診断と治療を説明できる。D-1-4)-(1)-③
 - 2) 骨髄異形成症候群(MDS)の病態・診断と治療を説明できる。
 - 3) 赤芽球癆(PRCA)の病態・診断と治療を説明できる。

キーワード：

赤血球恒数、網赤血球、血清鉄、血清フェリチン、ヘプシジン、ビタミン B₁₂、抗胸腺細胞グロブリン、シクロスポリン、血球形態異常、前白血病状態

教科書：

◆ 朝倉内科学 (第 12 版) 1985-1987, 1987-1990, 1990-1993, 1995-1998, 2008-2000
◆ 新臨床内科学

準備：

予習：小球性貧血の鑑別、赤血球恒数、血球の産生を復習しておく。骨髄不全症の病態を復習しておく。(15 分) 鉄・ビタミン B₁₂ の代謝(5 分)。鉄欠乏性貧血と anemia of chronic disorders (ACD) の鑑別(5 分)。再生不良性貧(AA) と骨髄異形成症候群(MDS)の鑑別(5 分)。再生不良性貧(AA) の重症度と治療(10 分)。骨髄異形成症候群(MDS)のリスク分類と治療(5 分)。朝倉内科学 (第 12 版) を読む。朝倉内科学 (第 12 版) 1985-1987, 1987-1990, 1990-1993, 1995-1998, 2008-2000。 復習：国家試験の過去問の活用

血液5：赤血球系疾患(2)

日時：7月24日(金) 3時限

担当者：脇本 直樹(国七 造血器腫瘍科)

内容：

貧血

1. 網赤血球数、生化学検査、赤血球形態による貧血の鑑別
 - 1) 溶血性貧血 D-1-4)-(1)-④
 - (1) 自己免疫性溶血性貧血の病態・診断と治療を説明できる。
 - (2) 遺伝性球状赤血球症の病態・診断と治療を説明できる。
 - (3) 赤血球破碎症候群の病態・診断と治療を説明できる。
 - (4) 発作性夜間ヘモグロビン尿症の病態・診断と治療を説明できる。D-1-4)-(1)-③
 - 2) 出血性貧血

赤血球増加症 D-1-4)-(4)-⑦

1. 赤血球増加症の分類を説明できる。

キーワード：

ハプトグロビン、LD、ビリルビン、小型球状赤血球、脾腫、Coombs 試験、破碎赤血球、GPI アンカー、CD55/59、赤血球増加症の鑑別

教科書：

- ◆ 朝倉内科学(第12版)1983-1985, 1998-2000, 2003-2007, 2009-2010, 2011-2014
- ◆ 新臨床内科学

備考：

発展課題：発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH) クローンとは何か?

準備：

予習：溶血性貧血の診断基準の復習をしておく(10分)。溶血性貧血の病型診断(15分)。赤血球増加症の病態と鑑別(10分)。朝倉内科学(第12版)を読む。朝倉内科学(第12版)1983-1985, 1998-2000, 2003-2007, 2009-2010, 2011-2014。復習：国家試験の過去問の活用

血液6：出血・血栓性疾患

日時：8月31日(月) 4時限

担当者：宮川 義隆(血液内科)

内容：

1. 免疫性血小板減少症(ITP)を説明できる
2. 血友病を説明できる
3. 播種性血管内凝固(DIC)を説明できる
4. 溶血性尿毒症症候群(HUS)を説明できる
5. IgA血管炎を説明できる
6. 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)を説明できる

キーワード：

免疫性血小板減少症、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病、DIC、IgA血管炎

教科書：

- ◆ 内科学第12版(朝倉書店)

準備：

予習：キーワードについて教科書、UpToDateを活用して調べる(30分)。復習：授業を受けた後に、各疾患の病態、検査、治療について振り返る(30分)